

## 貸借対照表

(平成31年3月31日現在)

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
<b>【資産の部】</b>		<b>【負債の部】</b>	
固定資産	127,676	固定負債	24,895
有形固定資産	121,717	地方債	22,007
事業用資産	26,996	長期未払金	-
土地	11,483	退職手当引当金	2,887
立木竹	2	損失補償等引当金	-
建物	40,698	その他	1
建物減価償却累計額	△ 26,097	流動負債	3,394
工作物	3,809	1年内償還予定地方債	3,153
工作物減価償却累計額	△ 2,984	未払金	-
船舶	-	未払費用	-
船舶減価償却累計額	-	前受金	-
浮標等	-	前受収益	-
浮標等減価償却累計額	-	賞与等引当金	202
航空機	-	預り金	39
航空機減価償却累計額	-	その他	-
その他	-	負債合計	28,288
その他減価償却累計額	-	<b>【純資産の部】</b>	
建設仮勘定	85	固定資産等形成分	131,420
インフラ資産	94,287	余剰分(不足分)	△ 27,239
土地	25,089		
建物	862		
建物減価償却累計額	△ 669		
工作物	168,168		
工作物減価償却累計額	△ 99,823		
その他	-		
その他減価償却累計額	-		
建設仮勘定	659		
物品	944		
物品減価償却累計額	△ 510		
無形固定資産	-		
ソフトウェア	-		
その他	-		
投資その他の資産	5,959		
投資及び出資金	644		
有価証券	-		
出資金	314		
その他	331		
投資損失引当金	△ 5		
長期延滞債権	139		
長期貸付金	0		
基金	5,193		
減債基金	553		
その他	4,639		
その他	-		
徴収不能引当金	△ 13		
流動資産	4,793		
現金預金	1,002		
未収金	47		
短期貸付金	1		
基金	3,744		
財政調整基金	3,336		
減債基金	408		
棚卸資産	-		
その他	-		
徴収不能引当金	0		
資産合計	132,469	純資産合計	104,181
		負債及び純資産合計	132,469

※ 下位項目との金額差は、単位未満の四捨五入によるものです。

## 行政コスト計算書

自 平成30年4月1日

至 平成31年3月31日

(単位:百万円)

科目	金額
経常費用	20,268
業務費用	11,850
人件費	3,645
職員給与費	2,861
賞与等引当金繰入額	202
退職手当引当金繰入額	-
その他	583
物件費等	7,922
物件費	3,744
維持補修費	419
減価償却費	3,758
その他	-
その他の業務費用	283
支払利息	157
徴収不能引当金繰入額	6
その他	120
移転費用	8,418
補助金等	3,331
社会保障給付	2,573
他会計への繰出金	2,464
その他	50
経常収益	1,027
使用料及び手数料	588
その他	438
純経常行政コスト	19,241
臨時損失	854
災害復旧事業費	850
資産除売却損	4
投資損失引当金繰入額	-
損失補償等引当金繰入額	-
その他	-
臨時利益	2
資産売却益	2
その他	-
純行政コスト	20,093

※ 下位項目との金額差は、単位未満の四捨五入によるものです。

## 純資産変動計算書

自 平成30年4月1日  
至 平成31年3月31日

(単位:百万円)

科目	合計	固定資産 等形成分	余剰分 (不足分)
前年度末純資産残高	106,038	134,448	△ 28,410
純行政コスト(△)	△ 20,093		△ 20,093
財源	18,261		18,261
税収等	15,011		15,011
国県等補助金	3,250		3,250
本年度差額	△ 1,832		△ 1,832
固定資産等の変動(内部変動)		△ 3,003	3,003
有形固定資産等の増加		1,438	△ 1,438
有形固定資産等の減少		△ 3,959	3,959
貸付金・基金等の増加		648	△ 648
貸付金・基金等の減少		△ 1,130	1,130
資産評価差額	-	-	
無償所管換等	△ 25	△ 25	
その他	-	-	-
本年度純資産変動額	△ 1,857	△ 3,028	1,171
本年度末純資産残高	104,181	131,420	△ 27,239

※ 下位項目との金額差は、単位未満の四捨五入によるものです。

## 資金収支計算書

自 平成30年4月1日

至 平成31年3月31日

(単位:百万円)

科目	金額
<b>【業務活動収支】</b>	
業務支出	16,496
業務費用支出	8,079
人件費支出	3,638
物件費等支出	4,163
支払利息支出	157
その他の支出	120
移転費用支出	8,418
補助金等支出	3,331
社会保障給付支出	2,573
他会計への繰出支出	2,464
その他の支出	50
業務収入	18,923
税収等収入	15,015
国県等補助金収入	2,912
使用料及び手数料収入	587
その他の収入	409
臨時支出	850
災害復旧事業費支出	850
その他の支出	-
臨時収入	178
<b>業務活動収支</b>	<b>1,754</b>
<b>【投資活動収支】</b>	
投資活動支出	1,806
公共施設等整備費支出	1,291
基金積立金支出	404
投資及び出資金支出	109
貸付金支出	1
その他の支出	-
投資活動収入	1,220
国県等補助金収入	165
基金取崩収入	1,001
貸付金元金回収収入	1
資産売却収入	52
その他の収入	-
<b>投資活動収支</b>	<b>△ 586</b>
<b>【財務活動収支】</b>	
財務活動支出	3,052
地方債償還支出	3,052
その他の支出	-
財務活動収入	2,053
地方債発行収入	2,053
その他の収入	-
<b>財務活動収支</b>	<b>△ 999</b>
<b>本年度資金収支額</b>	<b>169</b>
<b>前年度末資金残高</b>	<b>793</b>
<b>本年度末資金残高</b>	<b>962</b>
<b>前年度末歳計外現金残高</b>	<b>47</b>
<b>本年度歳計外現金増減額</b>	<b>△ 7</b>
<b>本年度末歳計外現金残高</b>	<b>40</b>
<b>本年度末現金預金残高</b>	<b>1,002</b>

※ 下位項目との金額差は、単位未満の四捨五入によるものです。

# 附属明細書

## 1. 貸借対照表の内容に関する明細

※下記以外の資産及び負債のうち、その額が資産総額の100分の5を超える科目についても作成する。

### (1) 資産項目の明細

#### ① 有形固定資産の明細

(単位:円)

区分	前年度末残高 (A)	本年度増加額 (B)	本年度減少額 (C)	本年度末残高 (A)+(B)-(C) (D)	本年度末 減価償却累計額 (E)	本年度償却額 (F)	差引本年度末残高 (D)-(E) (G)
事業用資産	55,827,726,439	455,418,174	205,721,646	56,077,422,967	29,081,298,986	882,264,026	26,996,123,981
土地	11,561,952,868	54,071,809	133,127,922	11,482,896,755	-	-	11,482,896,755
立木竹	2,123,130	-	-	2,123,130	-	-	2,123,130
建物	40,598,050,514	172,127,590	72,593,724	40,697,584,380	26,096,841,512	831,977,405	14,600,742,868
工作物	3,665,599,927	143,754,135	-	3,809,354,062	2,984,457,474	50,286,621	824,896,588
船舶	-	-	-	-	-	-	-
浮標等	-	-	-	-	-	-	-
航空機	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-
建設仮勘定	-	85,464,640	-	85,464,640	-	-	85,464,640
インフラ資産	194,010,857,146	798,130,948	30,108,251	194,778,879,843	100,491,695,964	2,814,905,377	94,287,183,879
土地	25,053,366,126	35,920,988	11	25,089,287,103	-	-	25,089,287,103
建物	861,761,687	-	-	861,761,687	668,550,429	23,444,022	193,211,258
工作物	168,040,429,333	127,990,800	-	168,168,420,133	99,823,145,535	2,791,461,355	68,345,274,598
その他	-	-	-	-	-	-	-
建設仮勘定	55,300,000	634,219,160	30,108,240	659,410,920	-	-	659,410,920
物品	765,681,216	268,218,754	90,289,700	943,610,270	509,558,432	61,018,352	434,051,838
合計	250,604,264,801	1,521,767,876	326,119,597	251,799,913,080	130,082,553,382	3,758,187,755	121,717,359,698

③投資及び出資金の明細

市場価格のあるもの

(単位:円)

銘柄名	株数・口数など (A)	時価単価 (B)	貸借対照表計上額 (A)×(B) (C)	取得単価 (D)	取得原価 (A)×(D) (E)	評価差額 (C)－(E) (F)	(参考)財産に関する 調書記載額
該当なし							
合計	-	-	-	-	-	-	

市場価格のないものうち連結対象団体(会計)に対するもの

(単位:円)

相手先名	出資金額 (貸借対照表計上額) (A)	資産 (B)	負債 (C)	純資産額 (B)－(C) (D)	資本金 (E)	出資割合(%) (A)/(E) (F)	実質価額 (D)×(F) (G)	投資損失引当金 計上額 (H)	(参考)財産に関する 調書記載額
上水道事業会計	330,546,000	14,194,184,706	8,778,750,173	5,415,434,533		100.0%	5,415,434,533	-	-
下水道事業特別会計	-	法適化準備中				0.0%	-	-	-
株式会社そのべまちづくり工房	5,000,000	8,026	3,536,339	(3,528,313)	10,000,000	50.0%	(1,764,157)	5,000,000	5,000,000
日吉ふるさと株式会社	66,000,000	134,071,153	38,893,517	95,177,636	100,000,000	66.0%	62,817,240	-	66,000,000
美山ふるさと株式会社	62,650,000	233,255,267	121,815,992	111,439,275	97,400,000	64.3%	71,680,396	-	62,650,000
公益財団法人南丹市情報センター	25,000,000	273,705,265	92,675,920	181,029,345	50,000,000	50.0%	90,514,673	-	25,000,000
公益財団法人園部町振興公社	6,000,000	171,392,670	17,199,644	154,193,026	10,000,000	60.0%	92,515,816	-	6,000,000
公益財団法人園部町農業公社	15,000,000	341,173,321	59,453,899	281,719,422	30,000,000	50.0%	140,859,711	-	15,000,000
公益財団法人南丹市福祉シルバー人材センター	30,000,000	351,202,900	29,081,487	322,121,413	30,000,000	100.0%	322,121,413	-	30,000,000
公益財団法人八木町農業公社	20,000,000	179,738,474	22,676,732	157,061,742	40,000,000	50.0%	78,530,871	-	20,000,000
医療法人財団美山健康会	42,865,000	80,463,455	29,627,281	50,836,174	64,999,111	65.9%	33,524,960	-	42,865,000
合計	603,061,000	15,959,195,237	9,193,710,984	6,765,484,253	432,399,111			5,000,000	272,515,000

(注)公営企業については、記載を省略しております。

市場価格のないものうち連結対象団体(会計)以外に対するもの

(単位:円)

相手先名	出資金額 (A)	資産 (B)	負債 (C)	純資産額 (B)－(C) (D)	資本金 (E)	出資割合(%) (A)/(E) (F)	実質価額 (D)×(F) (G)	強制評価減 (H)	貸借対照表計上額 (A)－(H) (I)	(参考)財産に関する 調書記載額
京都府農業信用基金協会	9,070,000	109,327,807,000	105,035,935,000	4,291,872,000	4,291,872,000	0.2%	9,070,000	-	9,070,000	9,070,000
(一社)京都府農業会議	320,000	405,243,503	370,227,460	35,016,043	13,860,000	2.3%	808,451	-	320,000	320,000
大阪湾広域臨海環境整備センター	400,000	43,256,988,506	28,280,915,269	14,976,073,237	136,900,000	0.3%	43,757,701	-	400,000	400,000
地方公共団体金融機構	5,200,000	24,589,199,000,000	24,294,008,000,000	295,191,000,000	16,602,000,000	0.0%	92,458,330	-	5,200,000	5,200,000
美山町森林組合	1,184,000	429,269,394	156,726,318	272,543,076	74,438,500	1.6%	4,335,001	-	1,184,000	1,184,000
(公財)京都府暴力追放運動推進センター	1,412,000	1,053,885,300	1,617,736	1,052,267,564	1,001,230,000	0.1%	1,483,977	-	1,412,000	1,412,000
(一財)京都伝統工芸産業支援センター	3,000,000	51,301,677	1,081,370	50,220,307	20,000,000	15.0%	7,533,046	-	3,000,000	3,000,000
京都信用保証協会	19,066,000	720,684,739,308	638,167,281,124	82,517,458,184	55,012,458,184	0.0%	28,598,574	-	19,066,000	19,066,000
(一財)京都ゼミナルハウス	1,000,000	67,828,106	14,098,961	53,729,145	3,000,000	33.3%	17,909,715	-	1,000,000	1,000,000
(一財)都市農山漁村交流活性化機構	500,000	998,027,182	13,185,004	984,842,178	984,842,178	0.1%	500,000	-	500,000	500,000
合計	41,152,000							-	41,152,000	41,152,000

## ④基金の明細

(単位:円)

種類	現金預金	有価証券	土地	その他	合計 (貸借対照表計上額)	(参考)財産に関する 調書記載額
財政調整基金	3,336,201,991				3,336,201,991	3,336,201,991
減債基金	960,876,488				960,876,488	960,876,488
地域福祉基金	63,381,205				63,381,205	63,381,205
ふるさと・水と土保全基金	36,702,897				36,702,897	36,702,897
義務教育施設整備基金	881,540				881,540	881,540
向山橋ほか7橋維持管理基金	20,164,622				20,164,622	20,164,622
電源立地地域対策整備基金	1,000				1,000	1,000
地域情報通信基盤整備基金	298,438,113				298,438,113	298,438,113
まちづくり整備基金	222,250,141				222,250,141	222,250,141
スプリングスひよし管理運営基金	18,687,166				18,687,166	18,687,166
かやぶきの里保存基金	10,010,247				10,010,247	10,010,247
園部女性の館管理運営基金	24,445,645				24,445,645	24,445,645
ふるさと南丹応援基金	17,241,594				17,241,594	17,241,594
豊かな森を育てる基金	2,757,768				2,757,768	2,757,768
活性化推進基金(旧合併特例事業債積立)	2,365,657,465				2,365,657,465	2,365,657,465
過疎地域自立促進特別事業基金(過疎地域自立促進特別事業債積立)	559,978,549				559,978,549	559,978,549
土地開発基金	364,062,590		634,835,151		998,897,741	998,897,741
合計	8,301,739,021	-	634,835,151	-	8,936,574,172	8,936,574,172

## ⑤貸付金の明細

(単位:円)

相手先名または種別	長期貸付金		短期貸付金		(参考) 貸付金計
	貸借対照表計上額	徴収不能引当金 計上額	貸借対照表計上額	徴収不能引当金 計上額	
地方公営事業	-	-	-	-	-
一部事務組合・広域連合	-	-	-	-	-
地方独立行政法人	-	-	-	-	-
地方三公社	-	-	-	-	-
第三セクター等	-	-	-	-	-
その他の貸付金	180,000	-	600,000	-	780,000
くらしの資金貸付金	180,000	-	600,000	-	780,000
合計	180,000	-	600,000	-	780,000

## ⑥長期延滞債権の明細

(単位:円)

相手先名または種別	貸借対照表計上額	徴収不能引当金計上額
【貸付金】		
第三セクター等	-	-
その他の貸付金	11,894,361	-
くらしの資金貸付金	11,306,361	-
生活資金貸付金	188,000	
奨学資金貸付金	400,000	
小計	11,894,361	-
【未収金】		
税等未収金	59,228,684	11,904,888
市民税	16,185,082	3,943,647
固定資産税	36,929,872	6,883,710
軽自動車税	3,956,678	691,590
都市計画税	2,157,052	385,941
その他の未収金	68,190,296	1,015,861
使用料・手数料	68,190,296	1,015,861
小計	127,418,980	12,920,749
合計	139,313,341	12,920,749

## ⑦未収金の明細

(単位:円)

相手先名または種別	貸借対照表計上額	徴収不能引当金計上額
【貸付金】		
第三セクター等	-	-
その他の貸付金	30,000	-
くらしの資金貸付金	30,000	-
小計	30,000	-
【未収金】		
税等未収金	28,982,694	35,859
市民税	10,604,240	6,444
固定資産税	14,857,616	26,601
軽自動車税	2,453,334	-
都市計画税	1,067,504	2,814
その他の未収金	17,651,632	-
使用料・手数料	17,651,632	-
小計	46,634,326	35,859
合計	46,664,326	35,859

## (2)負債項目の明細

## ①地方債(借入先別)の明細

(単位:円)

種類	地方債残高	うち1年内償還予定	政府資金	地方公共団体 金融機構	市中銀行	その他の 金融機関	市場公募債		その他	
							うち共同発行債	うち住民公募債		
【通常分】	16,033,782,252	2,509,397,297	5,677,064,455	3,678,767,018	3,468,154,000	250,134,000	-	-	-	2,959,662,779
一般公共事業	266,556,350	52,876,492	266,556,350	-	-	-	-	-	-	-
公営住宅建設	287,305,064	49,769,981	287,305,064	-	-	-	-	-	-	-
災害復旧	294,275,242	34,595,026	294,275,242	-	-	-	-	-	-	-
教育・福祉施設	594,049,252	148,784,405	493,520,586	-	3,500,000	16,976,000	-	-	-	80,052,666
一般単独事業	9,421,970,263	1,285,619,799	405,837,028	3,238,466,135	3,386,760,000	233,158,000	-	-	-	2,157,749,100
その他	5,169,626,081	937,751,594	3,929,570,185	440,300,883	77,894,000	-	-	-	-	721,861,013
【特別分】	9,125,634,975	643,211,025	7,977,095,722	-	133,626,000	2,160,000	-	-	-	1,012,753,253
臨時財政対策債	9,086,095,046	636,132,720	7,937,555,793	-	133,626,000	2,160,000	-	-	-	1,012,753,253
減税補てん債	39,539,929	7,078,305	39,539,929	-	-	-	-	-	-	-
退職手当債	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	25,159,417,227	3,152,608,322	13,654,160,177	3,678,767,018	3,601,780,000	252,294,000	-	-	-	3,972,416,032

②地方債（利率別）の明細

(単位:円)

地方債残高	1.5%以下	1.5%超 2.0%以下	2.0%超 2.5%以下	2.5%超 3.0%以下	3.0%超 3.5%以下	3.5%超 4.0%以下	4.0%超	(参考) 加重平均 利率
25,159,417,227	22,292,264,671	2,724,412,796	97,817,968	0	5,680,053	25,276,380	13,965,359	

③地方債（返済期間別）の明細

(単位:円)

地方債残高	1年以内	1年超 2年以内	2年超 3年以内	3年超 4年以内	4年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超 15年以内	15年超 20年以内	20年超
25,159,417,227	3,152,608,322	3,296,635,042	2,924,430,304	2,669,137,868	2,423,877,474	7,571,091,592	2,339,283,370	768,028,737	14,324,518

④特定の契約条項が付された地方債の概要

(単位:円)

特定の契約条項が 付された地方債残高	契約条項の概要
該当なし	

## ⑤引当金の明細

(単位:円)

区分	前年度末残高	本年度増加額	本年度減少額		本年度末残高
			目的使用	その他	
徴収不能引当金(固定)	12,626,725	5,984,467	5,690,443		12,920,749
徴収不能引当金(流動)	38,512	35,859	38,512		35,859
投資損失引当金	5,000,000				5,000,000
退職手当引当金	2,906,150,000		19,402,000		2,886,748,000
賞与等引当金	194,882,493	201,743,916	194,882,493		201,743,916
合計	3,118,697,730	207,764,242	220,013,448	-	3,106,448,524

## 2. 行政コスト計算書の内容に関する明細

## (1) 補助金等の明細

(単位:円)

区分	名称	相手先	金額	支出目的
他団体への公共施設等整備補助金等 (所有外資産分)				
	計		-	
その他の補助金等	京都中部広域消防組合負担金	京都中部広域消防組合	644,684,000	一組負担金
	船井郡衛生管理組合負担金	船井郡衛生管理組合	415,134,226	一組負担金
	公立南丹病院組合負担金	公立南丹病院組合	653,709,000	一組負担金
	その他		1,617,344,334	
	計		3,330,871,560	
合計			3,330,871,560	

3. 純資産変動計算書の内容に関する明細

(1) 財源の明細

(単位:円)

会計	区分	財源の内容	金額	
一般会計	税収等	地方税	4,364,960,441	
		税交付金	768,344,345	
		地方交付税	9,832,789,000	
		その他	44,875,187	
		小計	15,010,968,973	
	国県等補助金	資本的補助金	国庫支出金	132,206,000
			都道府県等支出金	33,055,720
			計	165,261,720
		経常的補助金	国庫支出金	1,655,194,914
			都道府県等支出金	1,429,723,900
			計	3,084,918,814
			小計	3,250,180,534
合計			18,261,149,507	

## (2)財源情報の明細

(単位:円)

区分	金額	内訳			
		国県等補助金	地方債	税収等	その他
純行政コスト	20,092,948,838	3,084,918,814	983,000,000	12,250,311,566	3,774,718,458
有形固定資産等の増加	1,437,719,217	165,261,720	1,070,400,000	202,057,497	-
貸付金・基金等の増加	647,799,548	-	-	647,799,548	-
その他	-	-	-	-	-
合計	22,178,467,603	3,250,180,534	2,053,400,000	13,100,168,611	3,774,718,458

4. 資金収支計算書の内容に関する明細

(1) 資金の明細

(単位:円)

種類	本年度末残高
現金	-
要求払預金	962,219,983
短期投資	-
合計	962,219,983

【一般会計等財務書類 注記事項】

1 重要な会計方針

(1) 有形固定資産及び無形固定資産の評価基準及び評価方法

① 有形固定資産……………取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

ア 昭和59年度以前に取得したもの……………再調達原価

ただし、道路、河川及び水路の敷地は備忘価額1円としています。

イ 昭和60年度以後に取得したもの

取得原価が判明しているもの……………取得原価

取得原価が不明なもの……………再調達原価

ただし、取得原価が不明な道路、河川及び水路の敷地は備忘価額1円としています。

② 無形固定資産……………取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

取得原価が判明しているもの……………取得原価

取得原価が不明なもの……………再調達原価

(2) 有価証券及び出資金の評価基準及び評価方法

① 満期保有目的有価証券……………償却原価法（定額法）

② 満期保有目的以外の有価証券

ア 市場価格のあるもの……………会計年度末における市場価格

（売却原価は移動平均法により算定）

イ 市場価格のないもの……………取得原価（又は償却原価法（定額法））

③ 出資金

ア 市場価格のあるもの……………会計年度末における市場価格

（売却原価は移動平均法により算定）

イ 市場価格のないもの……………出資金額

(3) 有形固定資産等の減価償却の方法

① 有形固定資産（リース資産を除きます。）……………定額法

なお、主な耐用年数は以下のとおりです。

建物 8年～50年

工作物 8年～75年

物品 2年～17年

② 無形固定資産（リース資産を除きます。）……………定額法

③ リース資産

ア 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

- ……………自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法
- イ 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
- ……………リース期間を耐用年数とし、残存価値をゼロとする定額法

(5) 引当金の計上基準及び算定方法

① 投資損失引当金

市場価格のない投資及び出資金のうち、連結対象団体（会計）に対するものについて、実質価額が著しく低下した場合における実質価額と取得価額との差額を計上しています。

② 徴収不能引当金

未収金については、過去5年間の平均不納欠損率により、徴収不能見込額を計上しています。  
長期延滞債権については、個別に回収可能性を検討し、徴収不能見込額を計上しています。

③ 退職手当引当金

期末自己都合要支給額から、京都市市町村職員退職手当組合への加入時以降の負担金の累計額から既に本市職員に対し退職手当として支給された額の総額を控除した額に、同組合における積立金額の運用益のうち本市へ按分される額を加算した額を控除した額を計上しています。

④ 賞与等引当金

翌年度6月支給予定の期末手当及び勤勉手当並びにそれらに係る法定福利費相当額の見込額について、それぞれ本会計年度の期間に対応する部分を計上しています。

(6) リース取引の処理方法

① ファイナンス・リース取引

通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

② オペレーティング・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

(7) 資金収支計算書における資金の範囲

現金（手許現金及び要求払預金）

なお、現金には、出納整理期間における取引により発生する資金の受払いを含みます。

(8) その他財務書類作成のための基本となる重要な事項

① 物品及びソフトウェアの計上基準

物品については、取得価額又は見積価格が50万円（美術品は300万円）以上の場合に資産として計上しています。

ソフトウェアについても、物品の取扱いに準じます。

② 資本的支出と修繕費の区分基準

資本的支出と修繕費の区分基準については、原則として、法人税法基本通達第7章第8節によっています。

## 2 偶発債務

### (1) 係争中の訴訟等

係争中の訴訟等で損害賠償等の請求を受けているものは次のとおりです。

- ① 京都地裁平成28年（ネ）第1008号  
損害賠償請求事件 19 百万円

## 3 追加情報

### (1) 財務書類の内容を理解するために必要と認められる事項

- ① 一般会計等財務書類の対象範囲は次のとおりです。

一般会計

市営バス運行事業特別会計

土地取得事業特別会計

- ② 地方自治法第235条の5に基づき出納整理期間が設けられている会計においては、出納整理期間における現金の受払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としています。

- ③ 地方公共団体の財政の健全化に関する法律における健全化判断比率の状況は、次のとおりです。

実質赤字比率 — %

連結実質赤字比率 — %

実質公債費比率 13.6 %

将来負担比率 92.2 %

- ④ 繰越事業に係る将来の支出予定額 1,998 百万円

### (2) 貸借対照表に係る事項

- ① 売却可能資産の範囲の範囲及び内訳金額について、南丹市の統一的なルールが設定できておらず、また「時価」の定義が明確でないため、当年度は未計上としています。

- ② 減債基金に係る積立不足額 24,199 百万円

- ③ 地方交付税措置のある地方債のうち、将来の普通交付税の算定基礎である基準財政需要額に含まれることが見込まれる金額 32,378 百万円

- ④ 地方公共団体の財政の健全化に関する法律における将来負担比率の算定要素は、次のとおりです。

標準財政規模 13,992 百万円

元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額 3,341 百万円

将来負担額 49,114 百万円

充当可能基金額 5,737 百万円

特定財源見込額 1,173 百万円

地方債現在高等に係る基準財政需要額算入見込額 32,378 百万円

(3) 純資産変動計算書に係る事項

純資産における固定資産等形成分及び余剰分（不足分）の内容

① 固定資産等形成分

固定資産の額に流動資産における短期貸付金及び基金等を加えた額を計上しています。

② 余剰分（不足分）

純資産合計額のうち、固定資産等形成分を差し引いた金額を計上しています。

(4) 資金収支計算書に係る事項

① 基礎的財政収支 729 百万円

② 既存の決算情報との関連性

	収入（歳入）	支出（歳出）
歳入歳出決算書	23,129 百万円	22,171 百万円
財務書類の対象となる会計の範囲の相違に伴う差額	58 百万円	53 百万円
繰越金に伴う差額	△ 793 百万円	－ 百万円
内部取引消去	△ 20 百万円	△ 20 百万円
資金収支計算書	22,374 百万円	22,204 百万円

地方自治法第233条第1項に基づく歳入歳出決算書は「一般会計」を対象範囲としているのに対し、資金収支計算書は「一般会計等」を対象範囲としているため、一部の特別会計（市営バス運行事業特別会計、土地取得事業特別会計）の分だけ相違します。また、歳入歳出決算書は、「繰越金」を収入としていますが、資金収支計算書は計上しないため、その分だけ相違します。

さらに、会計間の内部取引を相殺消去しているため、その分だけ相違します。

③ 資金収支計算書の業務活動収支と純資産変動計算書の本年度差額との差額

資金収支計算書の業務活動収支	1,754 百万円
未収債権額の増加（減少）	△3 百万円
減価償却費	△ 3,758 百万円
賞与等引当金（増減額）	△ 7 百万円
退職手当引当金（増減額）	19 百万円
徴収不能引当金（増減額）	0 百万円
国県等補助金収入（投資活動）	165 百万円
資産売却益（損）	△ 2 百万円
純資産変動計算書の本年度差額	△ 1,832 百万円

④ 一時借入金

資金収支計算書上、一時借入金の増減額は含まれていません。

なお、一時借入金の限度額及び利子額は次のとおりです。

一時借入金の限度額	1,300 百万円
一時借入金に係る利子額	－ 百万円

## 全体貸借対照表

(平成31年3月31日現在)

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
<b>【資産の部】</b>		<b>【負債の部】</b>	
固定資産	138,857	固定負債	33,352
有形固定資産	132,707	地方債	25,945
事業用資産	26,996	長期未払金	-
土地	11,483	退職手当引当金	3,069
立木竹	2	損失補償等引当金	-
建物	40,698	その他	4,338
建物減価償却累計額	△ 26,097	流動負債	3,904
工作物	3,809	1年内償還予定地方債	3,439
工作物減価償却累計額	△ 2,984	未払金	177
船舶	-	未払費用	-
船舶減価償却累計額	-	前受金	-
浮標等	-	前受収益	-
浮標等減価償却累計額	-	賞与等引当金	215
航空機	-	預り金	39
航空機減価償却累計額	-	その他	33
その他	-	負債合計	37,256
その他減価償却累計額	-	<b>【純資産の部】</b>	
建設仮勘定	85	固定資産等形成分	142,601
インフラ資産	104,478	余剰分(不足分)	△ 32,783
土地	25,737		
建物	1,516		
建物減価償却累計額	△ 897		
工作物	180,921		
工作物減価償却累計額	△ 103,468		
その他	-		
その他減価償却累計額	-		
建設仮勘定	667		
物品	2,666		
物品減価償却累計額	△ 1,433		
無形固定資産	0		
ソフトウェア	-		
その他	0		
投資その他の資産	6,150		
投資及び出資金	314		
有価証券	-		
出資金	314		
その他	-		
投資損失引当金	△ 5		
長期延滞債権	308		
長期貸付金	0		
基金	5,670		
減債基金	553		
その他	5,116		
その他	-		
徴収不能引当金	△ 137		
流動資産	8,217		
現金預金	4,340		
未収金	151		
短期貸付金	1		
基金	3,744		
財政調整基金	3,336		
減債基金	408		
棚卸資産	14		
その他	0		
徴収不能引当金	△ 33		
資産合計	147,073	純資産合計	109,818
		負債及び純資産合計	147,073

※ 下位項目との金額差は、単位未満の四捨五入によるものです。

## 全体行政コスト計算書

自 平成30年4月1日

至 平成31年3月31日

(単位:百万円)

科目	金額
経常費用	28,302
業務費用	13,308
人件費	3,851
職員給与費	3,013
賞与等引当金繰入額	214
退職手当引当金繰入額	15
その他	610
物件費等	8,873
物件費	4,174
維持補修費	450
減価償却費	4,248
その他	1
その他の業務費用	584
支払利息	244
徴収不能引当金繰入額	18
その他	322
移転費用	14,994
補助金等	11,033
社会保障給付	2,574
他会計への繰出金	1,338
その他	50
経常収益	2,443
使用料及び手数料	1,302
その他	1,141
純経常行政コスト	25,860
臨時損失	949
災害復旧事業費	850
資産除売却損	4
投資損失引当金繰入額	-
損失補償等引当金繰入額	-
その他	95
臨時利益	19
資産売却益	2
その他	17
純行政コスト	26,789

※ 下位項目との金額差は、単位未満の四捨五入によるものです。

## 全体純資産変動計算書

自 平成30年4月1日  
至 平成31年3月31日

(単位:百万円)

科目	合計	固定資産 等形成分	余剰分 (不足分)
前年度末純資産残高	111,245	140,622	△ 29,377
純行政コスト(△)	△ 26,789		△ 26,789
財源	24,974		24,974
税収等	17,277		17,277
国県等補助金	7,696		7,696
本年度差額	△ 1,815		△ 1,815
固定資産等の変動(内部変動)		1,601	△ 1,601
有形固定資産等の増加		6,597	△ 6,597
有形固定資産等の減少		△ 4,567	4,567
貸付金・基金等の増加		802	△ 802
貸付金・基金等の減少		△ 1,232	1,232
資産評価差額	-	-	
無償所管換等	378	378	
その他	10	-	10
本年度純資産変動額	△ 1,427	1,979	△ 3,406
本年度末純資産残高	109,818	142,601	△ 32,783

※ 下位項目との金額差は、単位未満の四捨五入によるものです。

## 全体資金収支計算書

自 平成30年4月1日

至 平成31年3月31日

(単位:百万円)

科目	金額
<b>【業務活動収支】</b>	
業務支出	23,968
業務費用支出	8,973
人件費支出	3,826
物件費等支出	4,607
支払利息支出	244
その他の支出	296
移転費用支出	14,994
補助金等支出	11,033
社会保障給付支出	2,574
他会計への繰出支出	1,338
その他の支出	50
業務収入	26,750
税収等収入	17,065
国県等補助金収入	7,212
使用料及び手数料収入	1,390
その他の収入	1,084
臨時支出	945
災害復旧事業費支出	850
その他の支出	95
臨時収入	195
業務活動収支	2,032
<b>【投資活動収支】</b>	
投資活動支出	2,123
公共施設等整備費支出	1,615
基金積立金支出	507
投資及び出資金支出	-
貸付金支出	1
その他の支出	-
投資活動収入	1,325
国県等補助金収入	214
基金取崩収入	1,026
貸付金元金回収収入	1
資産売却収入	52
その他の収入	32
投資活動収支	△ 798
<b>【財務活動収支】</b>	
財務活動支出	3,361
地方債償還支出	3,361
その他の支出	-
財務活動収入	2,163
地方債発行収入	2,053
その他の収入	109
財務活動収支	△ 1,199
本年度資金収支額	36
前年度末資金残高	4,264
本年度末資金残高	4,299
前年度末歳計外現金残高	47
本年度歳計外現金増減額	△ 7
本年度末歳計外現金残高	40
本年度末現金預金残高	4,340

※ 下位項目との金額差は、単位未満の四捨五入によるものです。

# 全体附属明細書

## 1. 全体貸借対照表の内容に関する明細

### (1) 資産項目の明細

#### ① 有形固定資産の明細

(単位:円)

区分	前年度末残高 (A)	本年度増加額 (B)	本年度減少額 (C)	本年度末残高 (A)+(B)-(C) (D)	本年度末 減価償却累計額 (E)	本年度償却額 (F)	本年度末 減損損失累計額 (G)	本年度減損額 (H)	差引本年度末残高 (D)-(E)-(G) (I)
事業用資産	55,827,726,439	455,418,174	205,721,646	56,077,422,967	29,081,298,986	882,264,026	-	-	26,996,123,981
土地	11,561,952,868	54,071,809	133,127,922	11,482,896,755	-	-	-	-	11,482,896,755
立木竹	2,123,130	-	-	2,123,130	-	-	-	-	2,123,130
建物	40,598,050,514	172,127,590	72,593,724	40,697,584,380	26,096,841,512	831,977,405	-	-	14,600,742,868
工作物	3,665,599,927	143,754,135	-	3,809,354,062	2,984,457,474	50,286,621	-	-	824,896,588
船舶	-	-	-	-	-	-	-	-	-
浮標等	-	-	-	-	-	-	-	-	-
航空機	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-
建設仮勘定	-	85,464,640	-	85,464,640	-	-	-	-	85,464,640
インフラ資産	203,110,929,528	5,773,605,426	42,831,143	208,841,703,811	104,364,183,272	3,185,679,020	-	-	104,477,520,539
土地	25,498,612,203	238,542,417	11	25,737,154,609	-	-	-	-	25,737,154,609
建物	1,313,356,545	202,806,214	-	1,516,162,759	896,658,092	40,584,002	-	-	619,504,667
工作物	176,240,815,780	4,692,929,635	12,627,892	180,921,117,523	103,467,525,180	3,145,095,018	-	-	77,453,592,343
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-
建設仮勘定	58,145,000	639,327,160	30,203,240	667,268,920	-	-	-	-	667,268,920
物品	1,811,198,910	961,395,090	106,267,378	2,666,326,622	1,433,222,947	179,651,029	-	-	1,233,103,675
合計	260,749,854,877	7,190,418,690	354,820,167	267,585,453,400	134,878,705,205	4,247,594,075	-	-	132,706,748,195

【全体会計財務書類 注記事項】

1 重要な会計方針

(1) 有形固定資産及び無形固定資産の評価基準及び評価方法

① 有形固定資産……………取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

ア 昭和 59 年度以前に取得したもの……………再調達原価

ただし、道路、河川及び水路の敷地は備忘価額 1 円としています。

イ 昭和 60 年度以後に取得したもの

取得原価が判明しているもの……………取得原価

取得原価が不明なもの……………再調達原価

ただし、取得原価が不明な道路、河川及び水路の敷地は備忘価額 1 円としています。

② 無形固定資産……………取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

取得原価が判明しているもの……………取得原価

取得原価が不明なもの……………再調達原価

(2) 有価証券及び出資金の評価基準及び評価方法

① 満期保有目的有価証券……………償却原価法（定額法）

② 満期保有目的以外の有価証券

ア 市場価格のあるもの……………会計年度末における市場価格

（売却原価は移動平均法により算定）

イ 市場価格のないもの……………取得原価（又は償却原価法（定額法））

③ 出資金

ア 市場価格のあるもの……………会計年度末における市場価格

（売却原価は移動平均法により算定）

イ 市場価格のないもの……………出資金額

(3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

総平均法による原価法

(4) 有形固定資産等の減価償却の方法

① 有形固定資産（リース資産を除きます。）……………定額法

なお、主な耐用年数は以下のとおりです。

建物	8 年～50 年
工作物	8 年～75 年
物品	2 年～17 年

- ② 無形固定資産（リース資産を除きます。）……………定額法
- ③ リース資産
  - ア 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産  
……………自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法
  - イ 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産  
……………リース期間を耐用年数とし、残存価値をゼロとする定額法

(5) 引当金の計上基準及び算定方法

- ① 投資損失引当金  
市場価格のない投資及び出資金のうち、連結対象団体（会計）に対するものについて、実質価額が著しく低下した場合における実質価額と取得価額との差額を計上しています。
- ② 徴収不能引当金  
未収金については、過去5年間の平均不納欠損率により、徴収不能見込額を計上しています。  
長期延滞債権については、個別に回収可能性を検討し、徴収不能見込額を計上しています。
- ③ 退職手当引当金  
期末自己都合要支給額から、京都市町村職員退職手当組合への加入時以降の負担金の累計額から既に本市職員に対し退職手当として支給された額の総額を控除した額に、同組合における積立金額の運用益のうち本市へ按分される額を加算した額を控除した額を計上しています。
- ④ 賞与等引当金  
翌年度6月支給予定の期末手当及び勤勉手当並びにそれらに係る法定福利費相当額の見込額について、それぞれ本会計年度の期間に対応する部分を計上しています。

(6) リース取引の処理方法

- ① ファイナンス・リース取引  
通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。
- ② オペレーティング・リース取引  
通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

(7) 全体資金収支計算書における資金の範囲

現金（手許現金及び要求払預金）  
なお、現金には、出納整理期間における取引により発生する資金の受払いを含みます。

(8) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。  
ただし、一部の連結対象会計については、税抜方式によっています。

## 2 偶発債務

### (1) 係争中の訴訟等

係争中の訴訟等で損害賠償等の請求を受けているものは次のとおりです。

#### ① 京都地裁平成 28 年（ネ）第 1008 号

損害賠償請求事件 19 百万円

## 3 追加情報

### (1) 連結対象会計

会計名	区分	連結の方法	比例連結割合
上水道事業会計	地方公営事業会計 (地方公営企業会計)	全部連結	—
国民健康保険事業特別会計	地方公営事業会計（その他）	全部連結	—
介護保険事業特別会計	地方公営事業会計（その他）	全部連結	—
後期高齢者医療事業特別会計	地方公営事業会計（その他）	全部連結	—

連結の方法は次のとおりです。

#### ① 地方公営企業会計は、すべて全部連結の対象としています。

ただし下水道事業特別会計は、地方公営企業法の財務規定等の適用に向けた作業に着手している（平成 29 年度までに着手かつ集中取組期間内に当該規定等を適用）ため、連結対象外としています。

なお、下水道事業特別会計の地方債残高は、19,643 百万円、同会計に対する一般会計繰出金は 1,333 百万円であり、同繰出金は行政コスト計算書の「その他（移転費用）」、資金収支計算書の「その他の支出（移転費用支出）」に含めて計上しています。

### (2) 出納整理期間

地方自治法第 235 条の 5 に基づき、出納整理期間を設けられている団体（会計）においては、出納整理期間における現金の受払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としています。

なお、出納整理期間を設けていない団体（会計）と出納整理期間を設けている団体（会計）との間で、出納整理期間に現金の受払い等があった場合は、現金の受払い等が終了したものとして調整しています。

### (3) 表示単位未満の取扱い

百万円未満を四捨五入して表示しているため、合計金額が一致しない場合があります。

### (4) 売却可能資産の範囲と内訳について

売却可能資産については、固定資産台帳から売却可能資産の範囲を検討中であり、当年度末時点で売却可能資産に該当する資産はありません。

## 連結貸借対照表

(平成31年3月31日現在)

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
<b>【資産の部】</b>		<b>【負債の部】</b>	
固定資産	146,632	固定負債	36,255
有形固定資産	137,644	地方債	27,476
事業用資産	30,950	長期未払金	8
土地	12,466	退職手当引当金	3,944
立木竹	2	損失補償等引当金	-
建物	47,621	その他	4,827
建物減価償却累計額	△ 30,416	流動負債	4,977
工作物	3,876	1年内償還予定地方債	3,783
工作物減価償却累計額	△ 3,021	未払金	648
船舶	-	未払費用	5
船舶減価償却累計額	-	前受金	7
浮標等	-	前受収益	-
浮標等減価償却累計額	-	賞与等引当金	376
航空機	-	預り金	85
航空機減価償却累計額	-	その他	74
その他	932	負債合計	41,233
その他減価償却累計額	△ 597	<b>【純資産の部】</b>	
建設仮勘定	85	固定資産等形成分	150,520
インフラ資産	104,478	余剰分(不足分)	△ 34,584
土地	25,737	他団体出資等分	463
建物	1,516		
建物減価償却累計額	△ 897		
工作物	180,921		
工作物減価償却累計額	△ 103,468		
その他	-		
その他減価償却累計額	-		
建設仮勘定	667		
物品	7,616		
物品減価償却累計額	△ 5,399		
無形固定資産	5		
ソフトウェア	4		
その他	1		
投資その他の資産	8,983		
投資及び出資金	41		
有価証券	-		
出資金	41		
その他	-		
投資損失引当金	-		
長期延滞債権	553		
長期貸付金	7		
基金	7,478		
減債基金	553		
その他	6,925		
その他	1,048		
徴収不能引当金	△ 145		
流動資産	10,999		
現金預金	5,777		
未収金	1,239		
短期貸付金	1		
基金	3,887		
財政調整基金	3,479		
減債基金	408		
棚卸資産	125		
その他	10		
徴収不能引当金	△ 40		
繰延資産	0		
資産合計	157,631	純資産合計	116,399
		負債及び純資産合計	157,631

※ 下位項目との金額差は、単位未満の四捨五入によるものです。

## 連結行政コスト計算書

自 平成30年4月1日

至 平成31年3月31日

(単位:百万円)

科目	金額
経常費用	38,859
業務費用	21,029
人件費	7,259
職員給与費	6,248
賞与等引当金繰入額	377
退職手当引当金繰入額	17
その他	617
物件費等	12,904
物件費	7,360
維持補修費	530
減価償却費	4,737
その他	277
その他の業務費用	866
支払利息	269
徴収不能引当金繰入額	23
その他	574
移転費用	17,831
補助金等	13,859
社会保障給付	2,575
他会計への繰出金	1,338
その他	59
経常収益	8,361
使用料及び手数料	5,032
その他	3,330
純経常行政コスト	30,498
臨時損失	949
災害復旧事業費	850
資産除売却損	4
投資損失引当金繰入額	-
損失補償等引当金繰入額	-
その他	95
臨時利益	22
資産売却益	2
その他	19
純行政コスト	31,425

※ 下位項目との金額差は、単位未満の四捨五入によるものです。

## 連結純資産変動計算書

自 平成30年4月1日  
至 平成31年3月31日

(単位:百万円)

科目	合計	固定資産 等形成分	余剰分(不足分)	他団体出資等分
前年度末純資産残高	117,834	148,809	△ 31,428	453
純行政コスト(△)	△ 31,425		△ 31,435	10
財源	29,531		29,531	-
税金等	19,432		19,432	-
国県等補助金	10,099		10,099	-
本年度差額	△ 1,894		△ 1,904	10
固定資産等の変動(内部変動)				
有形固定資産等の増加				
有形固定資産等の減少				
貸付金・基金等の増加				
貸付金・基金等の減少				
資産評価差額	-			
無償所管換等	378			
他団体出資等分の増加	-			-
他団体出資等分の減少	-			-
比例連結割合変更に伴う差額	71			
その他	10			
本年度純資産変動額	△ 1,435	1,711	△ 3,156	10
本年度末純資産残高	116,399	150,520	△ 34,584	463

※ 下位項目との金額差は、単位未満の四捨五入によるものです。

**連結附属明細書**

## 1. 連結貸借対照表の内容に関する明細

## (1) 資産項目の明細

## ①有形固定資産の明細

(単位:円)

区分	前年度末残高 (A)	本年度増加額 (B)	本年度減少額 (C)	本年度末残高 (A)+(B)-(C) (D)	本年度末 減価償却累計額 (E)	本年度償却額 (F)	本年度末 減損損失累計額 (G)	本年度減損額 (H)	差引本年度末残高 (D)-(E)-(G) (I)
事業用資産	64,682,169,530	539,771,011	238,296,256	64,983,644,285	34,033,647,075	1,101,049,718	-	-	30,949,997,210
土地	12,529,683,995	72,941,238	136,383,583	12,466,241,650	-	-	-	-	12,466,241,650
立木竹	2,123,130	-	-	2,123,130	-	-	-	-	2,123,130
建物	47,482,722,986	236,050,998	97,540,869	47,621,233,115	30,415,853,919	1,026,428,256	-	-	17,205,379,196
工作物	3,731,325,256	145,314,135	311,905	3,876,327,486	3,021,281,585	52,836,958	-	-	855,045,901
船舶	-	-	-	-	-	-	-	-	-
浮標等	-	-	-	-	-	-	-	-	-
航空機	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	936,314,163	-	4,059,899	932,254,264	596,511,571	21,784,504	-	-	335,742,693
建設仮勘定	-	85,464,640	-	85,464,640	-	-	-	-	85,464,640
インフラ資産	203,110,929,528	5,773,605,426	42,831,143	208,841,703,811	104,364,183,272	3,185,679,020	-	-	104,477,520,539
土地	25,498,612,203	238,542,417	11	25,737,154,609	-	-	-	-	25,737,154,609
建物	1,313,356,545	202,806,214	-	1,516,162,759	896,658,092	40,584,002	-	-	619,504,667
工作物	176,240,815,780	4,692,929,635	12,627,892	180,921,117,523	103,467,525,180	3,145,095,018	-	-	77,453,592,343
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-
建設仮勘定	58,145,000	639,327,160	30,203,240	667,268,920	-	-	-	-	667,268,920
物品	6,708,900,240	1,064,766,232	157,806,053	7,615,860,419	5,398,907,010	448,966,616	-	-	2,216,953,409
合計	274,501,999,298	7,378,142,669	438,933,452	281,441,208,515	143,796,737,357	4,735,695,354	-	-	137,644,471,158

【連結会計財務書類 注記事項】

1 重要な会計方針

(1) 有形固定資産及び無形固定資産の評価基準及び評価方法

① 有形固定資産……………取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

ア 昭和 59 年度以前に取得したもの……………再調達原価

ただし、道路、河川及び水路の敷地は備忘価額 1 円としています。

イ 昭和 60 年度以後に取得したもの

取得原価が判明しているもの……………取得原価

取得原価が不明なもの……………再調達原価

ただし、取得原価が不明な道路、河川及び水路の敷地は備忘価額 1 円としています。

② 無形固定資産……………取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

取得原価が判明しているもの……………取得原価

取得原価が不明なもの……………再調達原価

(2) 有価証券及び出資金の評価基準及び評価方法

① 満期保有目的有価証券……………償却原価法（定額法）

② 満期保有目的以外の有価証券

ア 市場価格のあるもの……………会計年度末における市場価格

（売却原価は移動平均法により算定）

イ 市場価格のないもの……………取得原価（又は償却原価法（定額法））

③ 出資金

ア 市場価格のあるもの……………会計年度末における市場価格

（売却原価は移動平均法により算定）

イ 市場価格のないもの……………出資金額

(3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

総平均法による原価法

(4) 有形固定資産等の減価償却の方法

① 有形固定資産（リース資産を除きます。）……………定額法

なお、主な耐用年数は以下のとおりです。

建物	8 年～50 年
工作物	8 年～75 年
物品	2 年～17 年

- ② 無形固定資産（リース資産を除きます。）……………定額法
- ③ リース資産
  - ア 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産  
……………自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法
  - イ 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産  
……………リース期間を耐用年数とし、残存価値をゼロとする定額法

(5) 引当金の計上基準及び算定方法

- ① 徴収不能引当金  
未収金については、過去5年間の平均不納欠損率により、徴収不能見込額を計上しています。  
長期延滞債権については、個別に回収可能性を検討し、徴収不能見込額を計上しています。
- ② 退職手当引当金  
期末自己都合要支給額を計上しています。  
ただし、一部の連結対象団体においては、主として期末における退職給付債務及び年金資産の見込み額に基づき計上しています。
- ③ 賞与等引当金  
翌年度6月支給予定の期末手当及び勤勉手当並びにそれらに係る法定福利費相当額の見込額について、それぞれ本会計年度の期間に対応する部分を計上しています。

(6) リース取引の処理方法

- ① ファイナンス・リース取引  
通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。
- ② オペレーティング・リース取引  
通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

(7) 連結資金収支計算書における資金の範囲

現金（手許現金及び要求払預金）  
なお、現金には、出納整理期間における取引により発生する資金の受払いを含みます。

(8) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。  
ただし、一部の連結対象会計については、税抜方式によっています。

2 偶発債務

(1) 係争中の訴訟等

係争中の訴訟等で損害賠償等の請求を受けているものは次のとおりです。

- ① 京都地裁平成28年（ネ）第1008号

## 3 追加情報

## (1) 連結対象団体（会計）

団体（会計）名	区分	連結の方法	比例連結割合
上水道事業会計	地方公営事業会計（公営企業）	全部連結	—
国民健康保険事業特別会計	地方公営事業会計（その他）	全部連結	—
介護保険事業特別会計	地方公営事業会計（その他）	全部連結	—
後期高齢者医療事業特別会計	地方公営事業会計（その他）	全部連結	—
船井郡衛生管理組合	一部事務組合・広域連合	比例連結	63.89%
国民健康保険南丹病院組合	一部事務組合・広域連合	比例連結	36.74%
京都中部広域消防組合	一部事務組合・広域連合	比例連結	33.62%
京都府市町村議会議員公務災害補償等組合	一部事務組合・広域連合	比例連結	10.30%
京都府自治会館管理組合	一部事務組合・広域連合	比例連結	3.46%
京都府後期高齢者医療広域連合	一部事務組合・広域連合	比例連結	1.61%
京都地方税機構広域連合	一部事務組合・広域連合	比例連結	0.99%
京都府住宅新築資金等貸付事業管理組合	一部事務組合・広域連合	比例連結	13.96%
公益財団法人南丹市福祉シルバー人材センター	第三セクター等	全部連結	—
公益財団法人南丹市情報センター	第三セクター等	全部連結	—
公益財団法人園部町振興公社	第三セクター等	全部連結	—
公益財団法人園部町農業公社	第三セクター等	全部連結	—
公益財団法人八木町農業公社	第三セクター等	全部連結	—
(株)そのべまちづくり工房	第三セクター等	全部連結	—
日吉ふるさと株式会社	第三セクター等	全部連結	—
美山ふるさと株式会社	第三セクター等	全部連結	—
医療法人財団美山健康会	第三セクター等	全部連結	—

連結の方法は次のとおりです。

- ① 地方公営企業会計は、すべて全部連結の対象としています。

ただし下水道事業特別会計は、地方公営企業法の財務規定等の適用に向けた作業に着手している（平成 29 年度までに着手かつ集中取組期間内に当該規定等を適用）ため、連結対象外としています。

なお、下水道事業特別会計の地方債残高は、19,643 百万円、同会計に対する一般会計繰出金は 1,333 百万円であり、同繰出金は行政コスト計算書の「その他（移転費用）」、資金収支計算書の「その他の支出（移転費用支出）」に含めて計上しています。

- ② 一部事務組合・広域連合は、各構成団体の経費負担割合等に基づき比例連結の対象としています。また、京都府市町村職員退職手当組合については、連結財務書類の貸借対照表に本市の持分相当の退職手当にかかる基金及び退職手当支給準備金を計上することをもって連結したものとみなしています。
- ② 地方三公社は、すべて全部連結の対象としています。
- ③ 第三セクター等は、出資割合等が50%を超える団体（出資割合等が50%以下であっても業務運営に実質的に主導的な立場を確保している団体を含みます。）は、全部連結の対象としています。また、いずれの地方公共団体にとっても全部連結の対象とならない第三セクター等については、出資割合等や活動実績等に応じて、比例連結の対象としています。

(2) 出納整理期間

地方自治法第235条の5に基づき、出納整理期間を設けられている団体（会計）においては、出納整理期間における現金の受払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としています。なお、出納整理期間を設けていない団体（会計）と出納整理期間を設けている団体（会計）との間で、出納整理期間に現金の受払い等があった場合は、現金の受払い等が終了したものとして調整しています。

(3) 表示単位未満の取扱い

百万円未満を四捨五入して表示しているため、合計金額が一致しない場合があります。

(4) 売却可能資産の範囲と内訳について

売却可能資産については、固定資産台帳から売却可能資産の範囲を検討中であり、当年度末時点で売却可能資産に該当する資産はありません。